



キラリと輝く生き方 女性の起業話

WORKING WOMEN のススメ

vol.4 女性が社会で活躍する国・ノルウェー視察リポート②

石山純恵さん

福島市在住、2児の母。

起業、国際結婚、離婚を経て平成20年に再起業。多言語翻訳と研修立案等の会社「クリフ」を設立。NPO法人Tomorrowに参画し市内3か所の学童保育所を運営。福島の女性起業家として講演や研修を行うほか、子どもから企業管理職までの幅広い人材教育事業に関わる。豊富な経験を生かし多方面で活躍中。25年全国商工会議所女性会連合会第12回女性起業家大賞「最優秀賞」受賞。福島県ベンチャーアワード2013「金賞」受賞。

【問い合わせ】

☎024(531)8120

3日前に職場復帰し女性クリスさんの仕事場で話を伺いました。電話の間に鳴った携帯は、また電話が掛かってきたらが慣れて参っちゃう。旦那が慣

週は父親のための育休で母親の代理取得は出来ません。父親が取らない場合は放棄することになり、重要なポストに就く男性も取得しているほど定着しているようです。

育休12週目という男性マーカーとは公園でお会いしました。ベビーカーを押す姿はまさしくヤクンバ！ 仕事の間に鳴った携帯は、主人から。「何かある彼はどうしたそう。でも今では考え方方が変化し、以前よ

2弾は「育児休暇」について。ノルウェーでは有給で最大59週間、うち14週は父親のための育休で休中に昇進したのだそうですが、「育休中も復帰に備え、仕事の進捗把握のため職場と連絡を取り合っていたの。会社の一員だから当然よ」と言う彼女の表情はまさしく輝いていました。

育休12週目という男性マーカーでは珍しくないらしい…。育休を境に、男性の生き方に良い変化があったとするデータも教えてもらいました。日本での育休は公務員さえ肩身の狭い思いをしている現状。一般企業ではなおさらです。

イクメンパパ・マークさん



バナ

れるまでは変わね」と苦笑。驚くことに彼女は育休中に昇進したのだそうです。「育休中も復帰に備え、仕事の進捗把握のため職場と連絡を取り合っていたの。会社の一員だから当然よ」と言う彼女の表情はまさしく輝いていました。

の前週。これもまたノル

ウェーでは珍しくないら

しい…。育休を境に、男性の生き方に良い変化があっ

たとするデータも教えて

もらいました。日本での育

休は公務員さえ肩身の狭

い思いをしている現状。一

般企業ではなおさらです。

ノルウェーでの育休制度

の成功事例。今回の経験を

どう生かし、日本で、福島

で新しい成功事例にして

いるか…。この旅で、私は働く女性、そして経営者として今できることを早く実現したいと考えるきっかけをもらいました。